事業番号	04　05　02

事業改善シート（30年度実施事業分）

□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事　業　名	多文化共生推進事業	部局	県民文化部	課・室	国際課
		実施期間	～	E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
総合的に展開する重点政策	2-3 海外との未来志向の連携

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○平成28年12月末現在の県内に在住する外国人は31,301人。昨年よりも858人増加している。在留資格の「永住者」が全体の4割を占め、外国籍県民の定住化が進んでいる。 ○母国の言語、文化、諸制度との違いなどから、外国籍県民が安心して暮らしていく上で、教育、労働をはじめ、様々な課題を抱えている。また、コミュニケーション能力の不足により、就学や進学が困難になるなどの課題が顕在化している。 ○行政からの一方的な施策だけでなく、外国籍県民自らが主体となり生活上の課題解決を図る活動を支援するなど、当事者を巻き込んだ施策の展開が必要であり、今後、活動の担い手となる外国籍県民キーパーソンの育成、活動の促進、行政との連携を進めていく必要がある。 ○平成27年3月には、今後の長野県の多文化共生推進の道標となる長野県多文化共生推進指針を策定し、施策を実施している。	30年度予算額	13,107 千円
		職員数	3.00 人
目指す姿	国籍や文化の違いを尊重し合い、誰もが参加し、協働して多様性を活かした豊かな地域を創造する。 （長野県多文化共生推進指針　多文化共生社会を実現するための基本目標） （主な実施内容：　多文化共生くらしのサポーター設置、外国籍児童就学支援、外国籍県民の助け合い活動等を担う人材育成　など　）		

事業コスト

区　分（単位：千円）		28年度	29年度	30要求	30予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	18,223	13,687	13,107	13,107
	補正予算	−1,336			
	合計（A）	16,887	13,687	13,107	13,107
Aの財源	一般財源	11,517	11,335	11,322	11,322
	県　債				
	国庫支出金	2,083			
	その他	3,287	2,352	1,785	1,785
決　算　額（B）		14,617			
概算人件費	職員数（人）	3.50	3.00	3.00	3.00
	概算人件費（C）	27,699	23,742	23,742	23,742
概算事業費（B（A）+C）		42,316	13,687	36,849	36,849

指標及びその達成状況

No	成果指標	28年度末	29年度末（見込）	30年度 目標値	30年度 成果	30年度 達成状況
①	外国籍県民・地域等のネットワーク形成の集まりへの参加者数	ー	150人	150人		
②	くらしのサポーター相談件数	4,700件	5,000件	5,000件		

成果指標設定理由	
	①外国籍県民と地域・行政とのつなぎ役となる者間のネットワーク形成のための集まりへの出席者数　150人（H27～28キーパーソン事業参加者196人・H26～28バイリンガル日本語指導者修了生90人の約半数） ②多文化共生くらしのサポーター（母国語相談員）相談件数　5,000件（過去10年平均相談件数4,820件） 「自助共助の取組みにつなげる」ネットワークの形成、「外国籍県民の暮らしやすさ」のための相談体制整備を、多文化共生社会実現のための成果指標に設定

指摘事項等への対応	指 摘 事 項	対　応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	要求どおり

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	30年度　実施内容	職員数（人）	29年度（当初）	30年度（要求）	30年度（予算案）
1	多文化共生推進事業	文化、生活習慣の違いから悩みを抱える外国籍県民等が安心して暮らすことができる県づくりの推進	3.00	13,687	13,107	13,107
		合計	3.00	13,687	13,107	13,107